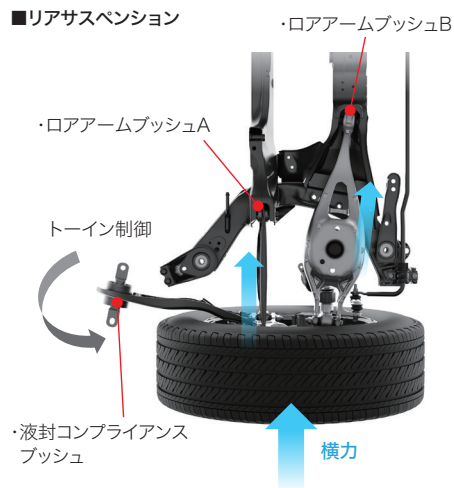


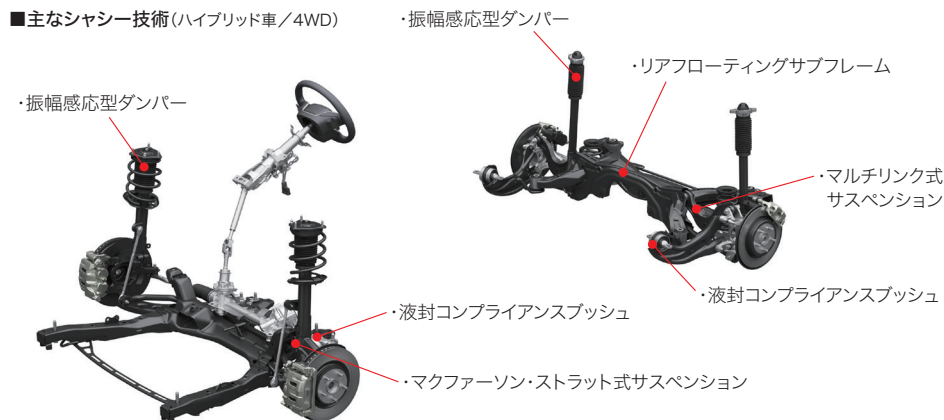
路面の凹凸からくる振動を一度で収束させるしなやかな足回りを追求し、乗り心地を向上 **One Motion**

高い操縦安定性と乗り心地を両立するリアサスペンション

リアにはマルチリンク式サスペンションを採用。すべてのアームを高剛性のサブフレームに取り付ける構造とし、横力によるトーイン特性を最適化。高い操縦安定性を発揮します。また、段差乗り越え時などの前後方向の入力に対しては、液封コンプライアンスブッシュで微細な振動も吸収し、優れた乗り心地を実現しています。



■主なシャシー技術(ハイブリッド車/4WD)



スペース効率に優れたフロントサスペンション

フロントには、マクファーソン・ストラット式サスペンションを採用。L型ロアアームと高剛性サブフレームを組み合わせたことで、高い接地点横剛性を確保し、ジオメトリー変化の少ないリニアなハンドリングを実現しました。また、液封コンプライアンスブッシュも採用しています。

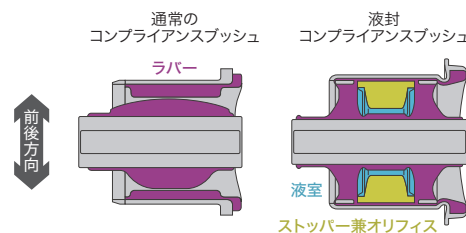
状況に応じて最適な減衰特性を発揮する振幅感応型ダンパー

フロント、リアとも、ダンパーに振幅感応型ダンパーを採用しました。ダンパー内部のピストンに、ストロークの小さい時のみ開くサブバルブを設け、ピストンスピードが同じであっても小さな動きの時は減衰力の発生を低く抑える構造となっています。これにより、大きなストロークのときは強い減衰力により安定した姿勢を保ち、小さなストロークのときは弱い減衰力で振動を吸収することが可能になり、操縦安定性と乗り心地を高い次元で両立させることに寄与しています。

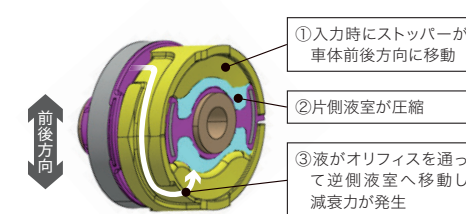
上質な乗り心地を実現する液封コンプライアンスブッシュを採用

フロント、リアともにコンプライアンスブッシュを液封タイプとすることで、低動バネ化と高い減衰特性を両立。段差乗り越え時などに大きな入力があってもショックを軽減し、振動の収まりを向上させ、「ごつごつ」「びりびり」といった不快な周波数の振動を軽減します。

■液封コンプライアンスブッシュ構造説明図



■減衰力発生メカニズム説明図



リアサブフレームを、フローティング構造化

サスペンションからの振動入力を効果的に低減。上質な乗り心地に寄与しています。



コーナリングの安定感と操舵性を高める大径18インチタイヤ

路面との接地面積が大きく、優れたグリップ力でコーナリングの安定感、ハンドリングの応答性を向上させる235/60R18の大径タイヤを採用しています。

